



2008年5月運動会 5-6年男子の騎馬戦

2008年(平成20年)10月30日発行 第12号

西田小学校・同窓会 会報

発行者 西田小学校同窓会

編集責任者・田村晋一郎(二期生)

騎馬戦のこと

一期生 志甫哲夫

西田小で同窓会の世話人会会議があった後、会長の土屋忠夫(三期生)さんからご自分で撮られたと言う運動会での騎馬戦写真を見せられて吃驚した。こんな戦争ごっこのような競技は、戦後なくなったものと思い込んでいたのだ。一時期は廃されただろうに、何時頃から復活したのだろうか、昭和二十八年卒の十期生から順に古い方へ、何人かずつ電話でヒヤリングをしてみた。すると戦後のお初は、何と終戦の翌年の昭和二十一年の運動会と言う事がわかった。当時六年生だった四期の細淵清さんがはっきり覚えておられた。桃二で間借り授業を受けていたその年の初夏、桃二合同でない運動会が行われ、騎馬戦もあって後ろの馬になったと云う。

騎馬戦は戦争中、西田での運動会でも(当時は体錬大会と呼称)花形イベントだったけれど、戦後こんなに早く復活していたのですな。終戦後、進駐して来た占領軍の司令部は、危険だとして剣道教育を禁止した(解禁は昭和二十七年)が、騎馬戦については武具を使わないから、単なる帽子取り競技だとして禁止しなかったのかも知れない。

私達の時を思い出してみる。西田校創立の昭和十七年、第一回体錬大会が十月四日に、又翌年の第二回が九月

二十六日に行われ、いずれも五、六年生の騎馬戦があった。私は後ろ馬しかやらなかった。チームの中では千原昌録を騎手にした組が最強だったと覚えている。彼はおでこにくっきり紐跡が残る位に、当時の底のない体操帽の紐をきつく縛っていた。これでは帽子を剥ぎ取る事ができない。さりとて彼を突き落とそうにも、抜群の格闘力の持ち主ゆえ、逆にやられてしまうのだ。当時の騎馬戦は相手騎手の体操帽を奪うか、或いはその騎手を突き落とすかした方を勝ちとした。

ところで小学校の体育乃至運動会に、騎馬戦が採り入れられたのは何時頃だろう。日体大の図書館で調べてみたら、文献の上で始めて登場したのは明治三十九年で「騎馬戦闘」の名が使われていた。因みに明治二十一年刊行の本に「擬馬競争」と云うのが始めて出てくるが、それは同じ組み方で走り、前方の旗を取って戻る競争の事だった。これは後に「騎馬競争」の名が一般的になったようだ。そのほか明治二十七、八年に日清戦争、同三十七、八年に日露戦争があり、当時の陸戦では実際に騎馬戦闘が行われたが、その影響を受けて、軍事遊びとしての「騎馬戦」が小学校高学年の体育に採用されたと見る解説文も見つけた。

現在の西田小ではどんな風にやっているのだろうと体育主任の市川先生に伺った。“昔と同じに運動会の五・六年生のイベントとして(赤・白組に分かれ)各団体戦をする。運動帽(今のは底付きで取り易い)を奪ったら勝ち、突き落とすのはいけないが馬が崩れて落ちてでも負け。女子生徒も男子とは混成はしないが参加する”。

エーツ本当ですかと云ったら、“今の女子は活発ですよ”と返って来た。

■西田小・母校の近況 写真アルバム



西田フェスティバル (2007年10月25日)
あいにくの雨で、お神輿は校舎の中を練り歩きました



運動会 (2008年5月24日)
5・6年・女子生徒の騎馬戦。
前文で志甫先輩が驚かれたので掲載してみました

卒業式 (2008年3月25日)
第65期生、68名が元気に巣立っていきました。



■ご挨拶

同窓会会長 土屋忠夫(3期生)

この一年、結構忙しい年でした。同窓会・創立15年目に至り、会費制度に踏み切った結果、初年度に244名の卒業生が応じて下さいました。この数字を悲観的に取る方と、希望的に取られる方がおられます。会長の私はまず300名と予測していましたので数字としては微妙です。244名の内訳は以下となりました。

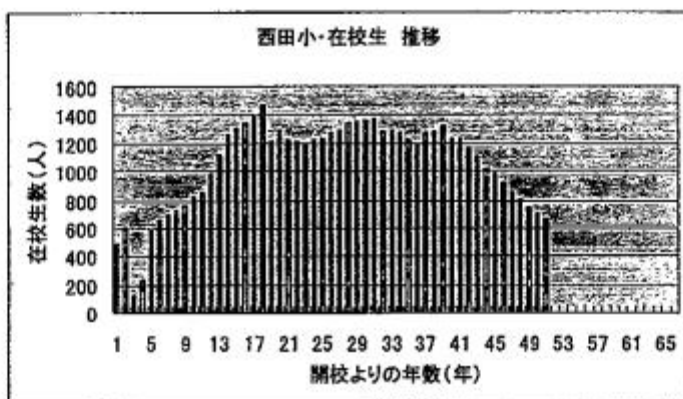
1-9期生	112名		
10-19期生	103名		
20-29期生	15名		
30-63期生	14名	1-63期 総合計	244名

従来からの変化は、1-9期生が大きく減少し、10-19期生が増加する傾向が出たことでした。10-19期生の登場は、同窓会の次の発展への希望にも繋がります。

もう一つは、2007年度に実施したアンケートに於いて、クラス会が運営されているクラス(期)と、参加されている方の氏名を知ることができたことです。従来から同窓会が保有する卒業生名簿は10期以降で網羅率が低い欠点がありました。今後は、10期以降の各クラス会にお願いして全校同窓会に新たな仲間の名簿を提供して頂き、全校の会も支えていただくなど、新たな施策を進めて行きたいと思っております。

右の表は、創立以来の西田小の年度別在校生数の推移表です。10期以降の卒業生の急増を示していますが、同窓会の今後の運営を考える上で重要な資料となります。

理事会では当面、維持会員500名確保、2012年の学校70周年記念行事への参加準備、特に100万円募金に向けて活動を続ける所存です。会の長期資金計画も本紙に掲載しましたので、ご理解を頂き、寄付などの資金面でも今一層のご協力をお願いしたいと思います。



■会費制・初年度の成果について

副会長・組織関連担当 中村昭(7期生)

この度、会費・寄付でご協力頂いた方を「維持会員」と呼ばせていただくことで会則にも盛り込みました。初年度244名の維持会員を母校の70周年記念事業が行われる2012年までに500名まで増やす作業を実施し、会の運営を10-19期の次世代に引き継ぐまでに、資金的基盤の最低ラインを築いて置きたいと思えます。資金があれば、学校を舞台に講演会開催など地元の活動も可能になります。生存卒業生1万人内外と推定される中で同窓会の維持会員の組織率の最終目標は1,000人くらいが現実的な線と弾いていますので、初年度244名という数字は決して望みのない数字ではありません。会員の皆様には毎年寄付もお願いしていますが、ご理解を頂戴したいと思います。

■ 世話人体制充実について

副会長・世話人会担当 渋谷好重(8期生)

今回例会を変更し、従来の期別代表としての世話人制度から、新たにクラス別代表制度としました。会の中心をつとめてきたクラス数の少ない初期の卒業生世代から、一期5～6組の世代へのシフトに対応したものです。運用面では、地元の方に限らず遠方に居られる方にも世話人として参加頂けるよう体制を整備しました。世話人には、会の活動内容が判るよう理事会から都度、書類にて報告書をお送りし、原則年に一度の世話人会には委任状又は書面でも議決に参加いただけるように致します。

世話人会は同窓会の最高の議決機関です。加えて、審議をお願いするほかに、クラス会を中心とした同窓会名簿の拡充と維持会員確保にご協力をお願いするものです。これから、一部の方々には理事会より各種お願いに上がることになりますが、積極的な対応をお願い申し上げます。

■ 同期会・クラス会からの報告

・2期・男女組同期会：年2回開催を原則としていて、いつも12～13人が参加する。次回は本年12月から来年1月を予定。
(報告者：田村晋一郎)

・3期・男女組：本年3月、新宿の住友化学寮で同期会(西田三期会)を開催し、16名が参加。数年に一度の開催頻度を毎年開催に変更して3年目。幹事は同期会が石塚さん、全校会が土屋(会長)、北岡さん(世話人)と分担していて、席上で全校同窓会の経過報告の時間をもらっている。
(報告者：土屋忠夫)

・12期1組：平成7年4月に開催し14名が参加。担任は神山敏夫先生。次の会は現時点で具体化に至っていない。
(報告者：森義信さん)

・16期1組：2006年9月、新宿で開催し17名参加。2～3年に一度程度で開催してきたが、定退者が増えて毎年開催の希望あり。担任の大塚朝子先生(旧姓：竹中：西田小2期卒業生)が毎回参加される。卒業時60名の中、44名の住所が判名している。次回は年内開催を考慮中。
(報告者：小池達雄さん)

・17期6組：15年ほど前から2年毎に開催。参加者は10～15名、メンバーは固定気味。開催場所は荻窪が多い。担任の大島先生が、元気で参加される。次回開催は来年で幹事は荒井氏。
(報告者：小島和明さん)

・21期4組：3年ほど前の前回クラス会に偶々欠席。次回の会合が決れば、色々情報を集めます。
(報告者：石丸 剛さん)

・33期：「38年9月の会」をやっている。会員は全員が西田小出身ではなく、当時は西田小から松溪中に進学する者が大半であった為、西田小或いは松溪中を卒業した同級生で構成。今年の会は9月6日(土)に荻窪駅南口の「和民」で65名が参加して開催。今後も毎年開催予定です。
(報告者：大橋康江(旧姓鴨志田)さん)

・33期5組：クラス会を開催していると聞いています。
(報告者：上記の大橋康江さん)

■西田会：旧教員・現教員の会です。会員は300名近いとのこと。本年は6月6日に荻窪「月の花」に21名が参集されたそうです。この時を以って、小崎佑前会長から小山昌身現会長に会長がバトンタッチされたそうです。
(榎本校長先生談)

維持会員からのメッセージ (2007 会報発行以後到着分です)

○大西秀男(1 期) 横須賀市在 (070829 受信) : タンゴ音楽、レコードコンサートで解説を頼まれています。

○和田須美子(2 期) 事、花柳伊寿穂 荻窪在 (070901) : 2008 年は杉並区舞踊連盟の 50 周年記念の文化祭及び 50 年史発行の担当をする予定です。

○志加満久子(3 期:旧姓牧野) 府中市在 (070800) : 会を盛り上げる一つの方法として、自分の卒業した学校の思い出集などを作ってみたらどうでしょうか。

○北山環子(6 期:旧姓間野) 世田谷区在 (070824) : 昔、世田谷区在職中に、隣の学校におられた榎本先生が西田小に校長として着任されびっくり、嬉しくなりました。応援しています。

○浅野純子(7 期) 中野区在 (071100) : 西田小から立教女学院、大学と行きました。NHK その他で仕事をして、今は写真家として趣味半分、仕事半分で楽しんでいます。(2007 年)9 月 29 日～10 月 4 日には荻窪駅北口コロナビル7階美音で写真展をしました。

○宇治川多嘉子(9 期) 天沼在 (071102) : 2007 会報の 65 周年記念の航空写真は、60 周年記念に頂いたクリアファイルと同じで懐かしかったです。

○河西啓次(10 期:青桐会) 横浜市在 (071100) : 岸上先生を中心とした青桐会は継続しています。今後は是非西田小全体の総合的活動を期待しています。寄付金等は出来るだけ協力したいと思っています。

○明浦翠(10 期) 西鎌倉在 (071100) : 岸上先生を囲んで時々クラス会を開いています。同窓会の仕事にもたずさわりたいのですが親の介護があり思うに任せません。

○志村洋子(10 期) 南房総市 (071100) : 秋の収穫時期で動けません。荻窪団地が一面の田んぼであったのを自分が田んぼをすることになっていつも思い出します。小学校時代は本当に基礎を作っていたのだと思っています。父母は昔と同じところで暮らしています。

○大森達雄(10 期) 多摩市在 (070907) : 土屋会長へ。2007 会報を拝読しました。行間に運営のご苦労が滲み出ています。70 周年の寄付金を 1 万円添えてお送りします。

○森 義信(12 期:神山学級) 荻窪在 (071100)

クラス会は昭和 63 年 6 月、平成 7 年 4 月に実施。本年も計画中です。

○土屋昌信(13 期) 横須賀市在 (071100) : 会長・土屋忠夫の弟です。地域で「おもしろ科学たんけん工房」(NPO)に所属し、子供達に化学実験や工作を伝える活動をしています。西田小の周りにもありますか？

○石田久子(15 期:旧姓薄井) 神奈川県大和市在 (071100) : 同窓会が今後更に充実して行くことを心より祈っております。

○小池達哉(16 期 1 組) 荻窪在 (071100) : 1～2 年に一度クラス会を開催し、15～20 名が出席します。来年開催予定です。

○志田睦美(17 期) さいたま市在 (071100) : 私は昭和 31 年に三年生で西田小に転入し、中学は私立大妻中に行ったので、西田小の友達はほとんどおりません。ただ担任の大島信夫先生によくして頂い

たのが記憶に残っています。

○小島和明(17期) 荻窪在 (071100) :10月13日、17期(6組)のクラス会を開催。二年ごとにやっています。

○森由美子(19期) 川越市在 (2007アンケート) :同窓会が3年に一回くらいあるといいと思います。春は決算で忙しいので秋がよいと。

○中林 裕(19期) 足立区在 (2007 アンケート) :新会費制度はよいことだと思います。会費徴収を兼ねて極端に少ない世代への会員勧誘を続ける事が大事だと思います。

○佐川幸子(19期:旧姓松浦) 荻窪在 (071100) :同窓会の幹事さんに敬意を表します。19期の面々は未だ仕事も現役、親の介護にたずさわっており(私も)、今しばらくはお世話になりますが、よろしくお願いします。

○岩城倫子(19期:旧姓綿貫) 阿佐ヶ谷南在 (071100) :未だ忙しくしておりますので、数年後お手伝いさせて頂きたいと存じます。

○川上千恵子(19期:旧姓斉藤) 埼玉県富士見市在 (071100) :ボランティアで介護予防のふれあいサロンの会を作り、今代表をしています。また市の環境市民会議の代表委員など地域のことで楽しみながら活動を行っています。

○鶴飼英滋(19期) (071101 同窓会 HP への投稿)

本日会報が届きました。ありがとうございます。前回もご連絡申しましたが、私も大学の同窓会の大阪支部の役員をしておりますが、年々参加者が減ってきており、同窓会費の納入率も全体では数%です。結果には必ず原因があります。あまり無理をせず、小さな事から解決される事が肝要と思います。例えば会報は、(どれだけの人に送っているかは判りませんが)支出から考えれば最低限にすべきです。私どもの大阪支部の年1回の総会の案内は、過去の返信状況を分析・層別し最低部数で発送しております。参考になればとメール致しました。

○徳永美枝子(20期) 千葉市在 (2007 アンケート) :大学のクラブのOB会を担当していますが、出席者は50代以上が7割です。若い人は仕事、子育てに忙しく、女性は特に50歳を過ぎると介護も始まり、なかなか役員などは引き受け手がありません。5年括り位でミニ同窓会をやると集まりが良いようです。

○佐藤泰子(21期) 兵庫県川西市在 (071100) :五十代半ばを迎え、小中学校の頃を懐かしく思い出します。同窓会、同期会の継続・発展を心からお祈りします。

○石丸剛(21期) 三鷹市在 (071100)

クラス会は回数は減りましたが継続しています。8割程度の住所はわかっています。

「新しき西田の丘に…」で始まる昔の校歌を皆で歌うと、音の高低があって、めちゃくちゃに歌っているように聞こえた。それが私の大好きな西田小学校だ。

学校への道には松浜橋辺りまで大きな田んぼが広がっていた。私の家は5地区と呼ばれていたところにあつて(校区を1〜6区に分けていた)、和田から自転車で出勤される田中渉先生が、東田小学校の成宗との境辺りで電車通り(青梅街道)から中に入ってこられて学校までの道を通られると、そここの家からそれを合図のように私たちが出てきて、だんだん膨らんで登校した。台風が来て家に帰る時、松浜橋は隠れてどこが川だかわからなくなった。そういう時は誰か先生がその橋まで一緒に、欄干の場所に立って下さって、私たちは通る場所がわかった。そこで七夕の竹も流していた。

学級会・児童会、作文、遊び放題が学校生活の記憶だ。「多数決」という言葉も知ったが、話し合っていくうちに決まる味も知った。“私は作文が嫌いだ”という出だしの“ちーちゃん”酒井千寿子さんの作文は私を怖いものなしの気持ちにしてくれた。朝礼台を立てて、チョークで人の絵を描いて、膝から下を狙ってボールを当てるドッジボールの練習は裸足だったかもしれない。学校の隣の畑も校庭になり、2倍以上広がって、もう遊び放題だった。

3組ですでに亡くなってしまった方もおられ、2003年11月14日に担当の田中先生が亡くなられてからはクラス会を開く元気をなくしてしまった。「お嫁さんの名は佐保子といいます」と結婚を私たちに報告されたその文面と先生のガリ版字や、「あら、つんじゃったあ、あら、つんじゃったあ」と男子と勝負しておどけていた先生の姿を思い出す。3年前まで教員をしていた私には、西田小学校での先生方の姿がいつも浮かんた。校庭に出したオルガンを弾かれる若狭先生と「新しき西田の丘…そよぐ、そよぐ」と皆で高い低いを必死にこなし歌っているのは私の宝物の光景だ。

萩窪の父母の家に行く途中で九鬼律子さんに会える。西田の田んぼが無くなった代わりに、南房総の地で田んぼを借りて、20年前から作業をしている夫と、できるだけ手作業で田んぼ仕事をしている。イノシシが3年前から現れて、フェンスや網や電柵で防御を工夫して、ただいま稲刈りの真っ最中！

筆者撮影



■同窓会からのご提案

「西郊ロジング」で同級会！！ こんな案はいかがですか。(同窓会よりご提案)

オーナーの平間美民(よしたみ)さんは西田小学校・昭和 36 年卒業のわれらの仲間です。
荻窪で同級会を開催・・・そしてたまには遠方の方も誘って。これも一興では！！



■ ご利用条件 (前広の予約が必要です)

- ・ 夜の宴会 料理(和食) ご相談次第ですが 4~5,000 円位が一般的。
最大人数 20~25 名までです。
- ・ 宿泊 5,250 円(2 人以上相部屋)、 6,500 円(1 人利用) 朝食 840 円
連絡法 電話 03-3391-0606 で平間さん呼び出してください。
住所: 〒167-0051 杉並区荻窪 3-38-9

■ ご希望次第で、同窓会より昔の母校や荻窪近辺の様子を伝えるスライドをパワーポイントで、お見せします (ご希望により 30~60 分くらい)。但し日程は講師の都合次第です。

- ・ 講師の連絡先: 土屋忠夫 (現在同窓会・会長ですがどうぞご遠慮なく)
メール: tadao-t@taupe.plala.or.jp
住所: 〒167-0051 杉並区荻窪 3-4-12 電話: 03-3398-8585